

令和6年度学校評価(重点目標)

[評価について] A=成果が見られた B=ふつう C=改善が必要である

		中・長期目標			
定通の和を尊び、理想の追求を象徴する校章と校歌に示された精神をもとに、 1. 知性の涵養 2. 品性の陶冶 3. 心身の錬磨 を目的とする。		「心あらたな学び直し」、「限られた時間を活かしての学び」、「働きながらの学び」を願う生徒が、安心して学習し、社会の一員として生きる力を育成する。			
		今年度の重点目標			
		1 いじめや暴力を絶対に許さない安心・安全な学校をつくる。 2 社会人基礎力(特に挨拶できる力)を育てる。 3 生徒の力を引き出す「わかる授業・伸ばす指導」を工夫し、学力の定着・伸長を図る。 4 地域に開かれ、地域とつながる学校をつくる。			
分野	重点項目	評価の観点	評価	成果と課題	改善策
安心安全な学校づくり	学校生活支援	1 相談やアンケート等を通して、生徒の理解に努め、寄り添いながら適切な支援ができたか	B	アンケートや面接を通して、定期的に点検ができた。行政や児相等外部機関との連携は密にできたが、状況改善に向けた継続的な支援が課題。	アンケートや面接の時間を今年度並みに計画する。経過観察をし、継続支援につなげていく。
		2 盗難や交通事故、人間関係トラブル等から身を守る行動をとれるように指導できたか	B	自転車乗車時の自損事故の件数が多発した。SNSなどに対する危機管理意識の向上が見られた。	交通安全対策して、スクエアドストレイトの実施を予定。引き続き、生徒間トラブル後のケアを丁寧にしていく。
	規範意識の醸成	3 お互いを尊重し、いじめ・暴力のない安心安全な学校づくりを推進できたか	B	生徒のSOSを職員間で共有し支援につなげられたが、長期化するトラブルの対応が課題。生徒会がピンクシャツデーを実施し生徒自らいじめ反対の発信ができた。	職員間の情報共有を迅速に、密にするとともに、保護者とも連絡を密にする。日常の生徒との関わりの中で人権を大切にすることが醸成できるようにする。
		4 挨拶を大切にするとともに、SST等を通して、コミュニケーション力を向上させることができたか	A	SSTでは、コミュニケーション力に手ごたえを感じている生徒の様子が窺えた。ワークシートの書き込みが苦手な生徒への対応が課題。	長年行ってきたSSTの内容を点検する。書字が苦手な生徒への対応として、ワークシートへの記入をタブレット入力できるようにする。
社会人基礎力育成	自主活動の充実	5 活動計画を立て、生徒が生徒会活動に積極的に関わることができたか	B	生徒が主体となった活動計画の策定を行うことは出来たが、計画の発表や実施に、やや遅れが生じた点は今後の課題であった。	活動の年間計画を年度当初に精査するとともに、推進日程について職員からのアドバイスをきめ細かく行なう。
	キャリア教育推進	6 進路ガイダンスや体験学習により生徒のキャリア意識を高めることができたか	A	進路ガイダンス、体験学習により進学意識・職業意識を喚起することができた。いっぽうで欠席により貴重な機会を逃してしまう生徒が一定数いるのが課題である。	生徒、保護者、職員に向けてガイダンス・講座の目標や年次間の流れの意義を、あらためて確認していきたい。
	進路指導の充実	7 進学や就職に関わる情報を適切に伝え、進路実現につなげることができたか	A	年次に応じて情報発信ができた。低学年での学校見学や模試受験など、積極的な取組もみられた。企業説明会についてはもう少し参加者を増やしたい。	生徒の意識が向上するよう、効果的な情報発信を模索したい。引き続き校内外の参加呼びかけを強くうながしたい。
伸ばす指導	わかる授業	8 生徒の実態や授業評価を基に授業改善に努め、わかりやすい授業づくりができたか。	A	授業評価や生徒アンケートでは、授業が理解しやすく、工夫しているという評価を多数得た。進学希望者への対応が課題。	アンケートによる点検の他、教員相互の授業見学を行い、授業改善が図れるようにする。進学希望者への対応を学び向上委員会で検討する。
		9 ドリル学習や基礎力診断テストの活用により、基礎学力の定着を図るとともに、上位層の学力を伸ばす取組みができたか	B	スモールステップの積み重ねにより学習事項が定着し、成果をあげている生徒も多い。基礎力診断テストの結果活用の促進が課題。	進路係や学び向上委員会が中心になって、基礎力診断テストの情報共有と活用を図るしくみづくりをする。
	教育課程の研究	10 評価方法や教育課程の研究を進め、生徒の実態に合った教育課程の編成ができたか	B	生徒の実態に合わせ、選択科目等の見直しや、学校外の学修で継続的に行われる活動に係わる単位認定をより進めることができた。	多様な学習ニーズに対応した柔軟で質の高い学びを実現するために、さらに教育課程の研究を進めていく。
開かれた学校づくり	発信情報	11 公開授業や学校説明会および、公式ホームページなどを通じて、本校の特徴を十分に伝えることができたか	B	学校の特徴を広く発信し、必要な情報を伝えることができた。学校説明会開催期日の最適化とホームページの更なる情報更新が必要である。	中学校の文化祭開催日をさけて学校説明会を実施する。ホームページをリニューアルし情報発信の充実化を図る。
	地域連携	12 街路清掃や地域の方との交流等、地域と関わる取組みができたか	A	生徒の活動を地域からも評価していただき、生徒の自信につながった。またメディアに取り上げていただいたことが、励みともなった。	拾う活動にとどまらず、ゴミを捨てない心がけや、地域の環境に対する意識をさらに高めたい。
		13 地域の人材や教育資源を活用し、生徒の学びに活かすことができたか	A	教科学習、SST、進路ガイダンス等で地域の方を講師に招き、地域や働くことについて学んだ。校内外の多くの大人に支えてもらっている。	引き続き、地域人材を活用する。地域と連携した生徒の体験活動、ボランティア活動を充実させ、生徒の自信につなげたい。